

非核・いしかわ

事務局／石川民医連労働組合気付
〒920-0848 金沢市京町 28-8 Tel.076-251-0014 Fax 076-251-3930
ゆうちょ口座 00760-0-15689 年会費 3000円(全国紙代含む)

非核五項目

- ① 全人類共通の課題として核戦争防止、核兵器廃絶の実現を求める
- ② 国はとされる非核三原則（つくらず、もたず、もちこませず）を厳守する
- ③ 日本の核戦場化へのすべての措置を阻止する
- ④ 国家補償による被爆者援護法を制定する
- ⑤ 原水爆禁止世界大会のこれまでの合意にもとづいて国際連帯を強化する

1面 白山市議会で「核兵器禁止条約への参加を求める意見書」を可決<県内初>
宮岸美苗
3面 今年も「非核・平和施策に関する自治体アンケート」を実施します

4面 旧731部隊本部遁走の経過
5面 再び注目を集めている「731部隊」の検証
6面 3・1ビキニデー参加報告
映画「標的の島 風かたか」県内縦断上映会

7面 「学ぶことは生きる力」の言葉に励まれて
〈独標〉腹が立つ
8面 石川の地域点描 シリーズ
絵手紙コーナー

白山市議会で「核兵器禁止条約への参加を求める意見書」を可決 《県下初》

宮岸美苗

白山市のホームページ（HP）に、新たに「ヒバクシャ国際署名」の外部リンクが張られました。

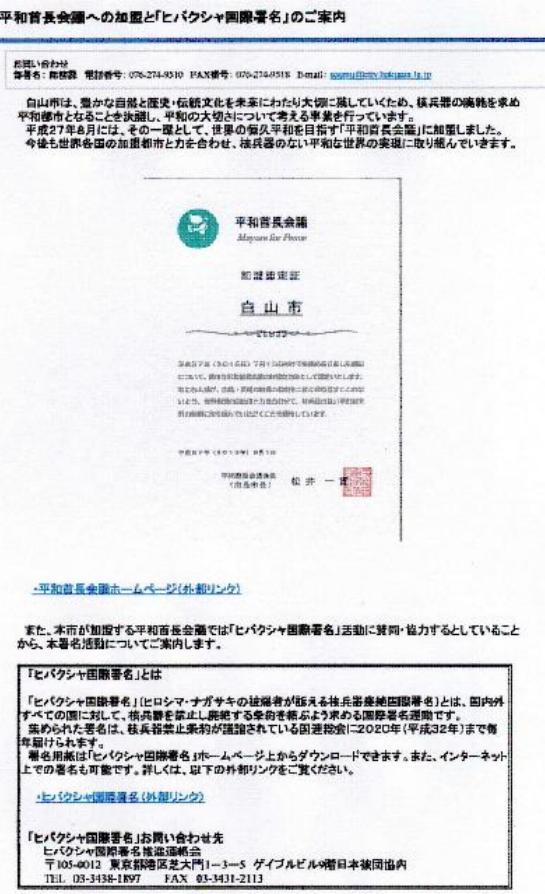
まず「総務課」をクリックし、次にコンテンツ一覧の「平和首長会議への加盟とヒバクシャ国際署名のご案内」を開くと、「ヒバクシャ国際署名（外部リンク）」につながり、そこで署名もできるというものです。

これは、市議会八月会議での私の一般質問に対して山田憲昭市長が、「外

部リンクで対応したい」と答弁したことをによるものです。

私自身は、市のHPのトップページでその案内や署名も可能というものを要望していたので、これではどれだけの市民に国際署名のことが届くのか疑問ではありますが、まずは一步前進と市を評価しさらなる充実と平和事業の推進を求めていきたいと思っています。

(白山市議会議員)



白山市HPで「ヒバクシャ国際署名」をリンク

花鳥風月 今年も沢山のガンやカモ、コハクチョウなどが県内各地へ飛來した。そんな水禽の鉛中毒死のことが知られていない▼水禽の鉛中毒は世界的な問題で一九九一年国際水禽湿地調査機構は、ブリュッセルの国際会議で鉛散弾を規制、鉄散弾への移行が検討された▼わが国では一九八五年ごろからハクチヨウやマガの銃死があり、その後各地で鉛中毒の大量死が確認されている▼石川県小松市でも一九九一年マガの銃死体の筋胃内に約百個の鉛散弾を解剖で確認。鉛中毒と診断されている▼鳥は餌を呑みこむと→一時、保管する素嚢→強酸性（PH 2.5）の消化液と混合する腺胃→小砂利を利用し強力な筋力で擦り潰す筋胃（砂嚢）へ▼鉛散弾は中性では溶解・腐敗せず、命中しない多数の鉛散弾（3mm以内）は湖沼や餌場の田圃等に散乱放置される▼水禽類は小砂利として鉛弾を摂取するが腺胃で強酸性の消化液で溶解、筋胃で擦り潰され、腸管から吸収、血中に取りこまれて異常をきたす。二～三個の鉛弾で二～三週間で削瘦、緑色下痢便等の症状が出て死に至るという▼ハンターへの啓蒙と鉛散弾など具体的な行政指導が求められる▼石川県民俗文化財・加賀市片野の坂網獣は貴重な遺産だ。（平）

核兵器禁止条約の採択を受けて 白山市議会の昨年九月の質疑より

**禁止条約への署名・批准を
政府に要請すること**

◆15番（宮岸美苗君）

一点目は、核兵器禁止条約の採択を受けてということであります。

被爆国として条約を批准せよとの要請をぜひ市長にしていただきたいと思います。七二年前、広島、長崎に原爆が投下されて、被爆者の方々の苦難の歴史が始まりました。被爆者の平均年齢は既に八一歳。七二年後の七月七日、国連で、加盟国一九三カ国のうち一二二カ国賛成で核兵器禁止条約が採択されました。国際法上、核兵器は違法となりました。各国が批准して、条約が発効されることを望みたいものです。絶対悪である核兵器のさらには、被爆地である広島、長崎は、石川県から遠いということもあり、また引率の関係や費用負担のこともあります。

残念ながら日本政府は、この会議には参加せず、しかも条約にも署名しないと言いつつ、被爆者の方々を失望させております。唯一の戦争被爆国であるならば、どこよりも先に率先して批准すべきではないでしょうか。

さて、こんな中、北朝鮮の弾道ミサイル発射、そして核実験、これは断じて、

て許されません。国際社会が核兵器禁止を目指していくという流れがつくれている情勢のもとで、全く逆行しております、言語道断。今、アメリカとの軍事の危険なエスカレートを見て、核兵器による威嚇をも禁じたこの禁止条約の立場でこそ解決をとмыслます。

平和首長会議に加盟している市長として、条約批准を政府に迫っていただいたいのですが、御見解をお聞かせください。

平和首長会議に加盟している市長として、条約批准を政府に迫っていただいたいのですが、御見解をお聞かせください。

◎市長（山田憲昭君）

初めに、被爆国としての条約批准の要請についてお答えをいたします。

六月会議の答弁でも申し上げましたとおり、核兵器の廃絶と恒久平和の実現は、唯一の被爆国である我が国はもとより、平和を求める全ての国の願いです。

今年の中学校の修学旅行では、鳥越中一校が広島を訪れたと聞いております。被爆地である広島、長崎は、石川県から遠いということもあり、また

核兵器の恐ろしさ、命の尊さなど、平和に対する意識を高めていきたいと申します。

今後も、こうした取り組みを通じて、核兵器の恐ろしさ、命の尊さなど、平和に対する意識を高めていきたいと申します。

◆国を動かすのは地方の声

◆15番（宮岸美苗君）

今、御答弁であります今回、国連の交渉会議で可決、成立した核兵器禁止条約は、やはり全世界の長年の核なき世を求める運動、取り組みと、そして何よりも日本の被爆者の方々の長年の苦しみのもとでずっと取り組ん

できた運動に突き動かされて、今回の条約の成立に至ったという背景があるというふうに思うのです。

今、いろんな形で国民、市民の声や運動が政府や、あるいは地方を動かして、事が大きく動くというような情勢

には、被爆者の方々のこれまで果たした役割も大きく評価されております。平和教育として、中学生の代表を広島、長崎で毎年開催されている平和記念式典などに派遣して、被爆地を訪れ、交流もするといった体験ができるよう取り組みを進めていただきたいのですが、いかがでしようか。

ただ、一方では、本市では毎年、各市立図書館で平和に関する図書展示や、市民団体と共同で原爆の悲惨さを訴えるパネル展を行っており、さらに中学生には、夏休み中の全校登校日に平和集会を開催し、平和教育を行っております。

ただ、一方では、本市では毎年、各市立図書館で平和に関する図書展示や、市民団体と共同で原爆の悲惨さを訴えるパネル展を行っており、さらに中学生には、夏休み中の全校登校日に平和集会を開催し、平和教育を行っております。

ただ、一方では、本市では毎年、各市立図書館で平和に関する図書展示や、市民団体と共同で原爆の悲惨さを訴えるパネル展を行っており、さらに中学生には、夏休み中の全校登校日に平和集会を開催し、平和教育を行っております。

でもありますので、ぜひ地方が国に対しても発効に向けた道筋をぜひついていただきたいと。やはり国を動かすのは地方の声もあるというふうに思いますので、そこはぜひ市長にはまた受けとめていただいて、ぜひ市長として声を上げていただきたい。平和首長会議の中でもそういった話もあるというふうに思いますので、ぜひそういう形で声を上げていただきました。

それから、広島への中学生の派遣と

いうことですけれども、私は過去に広

島と、それから原爆資料館、平和記念

資料館か、そこに何度も行きましたけ

れども、やっぱり一番鮮烈な記憶とし

て残っているのは、修学旅行のときに

行ったときでした。やはり本当に若い

ときにそういう現地を訪れて、そ

いつた事実を知つてみると、間接的に

知つてくるという経験は非常に大事

なことだというふうに思います。

今、図書の分野ですとか、さまざま

な平和の取り組みが市でもなされて

おりますけれども、語り部もあります

けれども、もちろんそれもしていって、

並行して、やはり何とか若い中学生を

派遣するような取り組みをぜひ引き

続き検討していただきたいなど、ぜひ

に参加しませんでした。

検討課題にしていただきたいという

ことを申し上げて、次に移ります。

・・・・・

白山市議会で「核兵器禁止条約への参加を求める意見書」を可決

『県内初』

白山市議会では平成二十九年八月議会にて山口俊哉市議が提案した「核兵器禁止条約への参加を求める意見書」が賛成全員により、原案可決されています。

白山市議会HPに公開されている会議録から該当箇所を紹介します。

◆5番（山口俊哉君）

議会議案第九号について提案理由の説明を申し上げます。

七月七日、核兵器禁止条約が圧倒的多数の賛成で成立しました。広島・長

崎への原爆投下から七〇年以上を経て、ついに核兵器を禁止する条約が成

立したことは、画期的な前進であり、議長を務めたコスタリカのエレン・ホ

ワイト氏も「広島・長崎の被爆者や核実験の被害者も重要な役割を果たした」と高く評価しています。

○議長（小川義昭君）

お諮りいたします。議会議案第九号について、事理明白につき、この際、即決いたしたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小川義昭君）

〔「異議なし」と認めます。よって、議会議案第九号は即決することに決しました。議会議案第九号を採決いたしました。本案は可決することに御異議ありません。本件は可決することに御異議ありませんか。〕

確かに、核保有国の参加を得ず、条約が実効性を持つには困難が予想されますが、核兵器の非人道性を身をもつて体験した日本は、核の傘のもとで

約に背を向けるべきではありません

今年も「非核・平和施策に関する自治体アンケート」を実施します

よつて、国におかれでは、核兵器禁止条約の立場に立つて粘り強く核保有国を説得する役割を果たすため、核兵器禁止条約に参加すること並びに参加するまでの間、締約国会合や再検討会議にオブザーバーとして参加することを強く求めていきたく、本案を提出した次第であります。

どうか議員各位には、適切な御決定をいただきますようお願い申し上げ、提案理由の説明といたします。

○議長（小川義昭君）

お諮りいたします。議会議案第九号について、事理明白につき、この際、即決いたしたいと思います。これにご異議ありませんか。

○議長（小川義昭君）

お諮りいたします。議会議案第九号について、事理明白につき、この際、即決いたしたいと思います。これにご異議ありませんか。

●署名済みの自治体首長

七尾市長、輪島市長、かほく市長、白山市長、能美市長、野々市市長、川北町長、内灘町長、志賀町長、宝達志水町長、中能登町長、穴水町長、

石川県知事、金沢市長、小松市長、珠洲市長、加賀市長、羽咋市長、津幡町長、能登町長

●未署名の自治体首長

一方、核保有国は条約に反対し、「核の傘」のもとにある約四〇カ国の政府も交渉に参加せず、唯一の戦争被爆国である日本も米国への配慮から交渉に参加しませんでした。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

□講演要旨□

旧七三一部隊本部遁走の経過

城北病院名誉院長 莺昭三



講師の莺昭三さん

七三一部隊とは、 そこで何がされたのか

二月二十四日（土）金沢市近江町交流プラザにて、一五年戦争と日本の医学医療研究会の第七回北陸支部研究会が開催され、標記テーマで莺昭三さん（城北病院名誉院長）の講演がありました。参加者は四〇名でした。

「終戦時に旧関東軍防疫給水部（通称「七三一部隊」）は中国東北部にあつた大規模な実験施設を破壊し、捕虜を「処理」し、ハルビン—釜山—金沢の経路で日本に逃げ帰った訳だが、なぜ最終地が金沢なのかは謎であった。今回、その謎を解く二つの新たな事実が明らかになつたので一一月に東京大学で開催された本研究会に報告し、たものを金沢の皆さんにも知つてもらいたい」とスライドで当時の写真や

施設を爆破、マルタを焼き殺し、 釜山—山口経由で最終地金沢へ

水部ノ現役将校ハ金沢師管区指令部

発見された新資料を示しながら話を始められました。

付二命課セラレタルモノトシ」（八月二八日付）という軍事機密電報であった。持ち帰つた資材等は近くの金沢陸軍病院に運び、そこで残務整理せよとの指示であった。勿論事前に石井と陸軍医務局と打ち合わせ済みのもので、入れに当たつては石川、二木ら金沢医科大学関係者の名前が上げられる。なぜ野間神社なのかについても、当時の国鉄東金沢駅（軍需工場関連企業の貨物駅として利便あり）に近く、大学医局関係者も近くに住んでいたこともある。野間神社社務所で引き上げ後の残務整理にあたり、当事者の証言によるため京大医学部や旧金沢医科大学関係者が多く研究者として名を連ねていた。そこでは中国人などの捕虜を使つての凍傷・輸液・細菌感染などの人体実験や生体解剖、鼠や蚤を繁殖させてペスト菌の実戦散布まで行つていた。殺害されたマルタと称する捕虜の正確な数は不明だが、三〇〇〇人以上とされ、中には細菌感染して療養中の部隊関係者も含まれていた。

金沢医療センターに 戦陣の医療機材が

もうひとつ的新事実は、石井式濾水器、持ち運び式レンントゲン機械、陸軍医学校刻銘の顕微鏡などが現金沢医療センターに保管、陳列されていたとわかつたことである。これらの機材は軍陣で使用するものであり、七三一部隊が持ち帰つて旧金沢陸軍病院に運び込んだとしか考えられない。特に石井式濾水器は自衛隊関係施設に現



金沢医療センターに保管されていた濾水器

歴史資料の保存・公開と 公文書館新設に期待の声

講演終了後、参加者の中から初めて知る事実に驚いたとの声や、金沢医療センターにあるとされているこれら歴史遺産をしっかりと保管・公開すること、そして金沢市に建設予定の「公文書館」に近現代史関係資料を保管することを期待する意見が出されました。

（非核・いしかわ編集部）

学術界と軍事の接近で 再び注目を集めている

「七三一部隊」の検証

塩谷耕吾

近江町交流プラザの研修室は、文字どおり満員。席は一つも空いていない。参加者約四〇人の熱気に包まれて、城北病院の勘昭三名誉院長による講演「旧七三一部隊本部遁走の経過」は行われた。

今回の発表は、勘氏ら研究グループのここ数年の研究の成果で、一九四五年に敗戦が決定的になつて以降、七三一部隊の本隊が中国から金沢に撤退した経緯が詳細に語られた。新たな発見は二つある。

一つは、一九四五年八月二八日、参謀本部が中国から撤退中の七三一部隊に送った機密電報「陸機密電第八八号」の発見だ。七三一部隊に対し、「金澤師管区司令部附ニ命課セラレタルモノトシ」と記されており、軍が金沢への引き揚げを指令していることが証明されたとしている。防衛省の防衛研究所資料室で見つけたといふ。

もう一つは、金沢市中心部にある金沢陸軍病院の後身の国立病院機構金沢医療センターで、部隊長で旧制四高出身の石井四郎が開発した「石井式濾水器」

水器」などの古い医療器具が保存されていたことの発見だ。年代や銘板などをから、金沢に引き揚げ後に装備を解除した七三一部隊の遺留品である可能性が高いと指摘する。勘氏によると、現存する石井式濾水器は陸上自衛隊衛生学校(東京都世田谷区)にある「彰古館」に一つあるだけとし、「七三年以上も保存に尽力された病院に敬意を表す。今後の研究のため、ぜひ公開していただきたい」と話した。

これら発見の資料的な価値は大きい。参謀本部からの機密電は、軍全体として七三一部隊を隠蔽しようとしたことを示しているといえる。部隊に関する証拠隠滅が徹底されている中で、公文書の形で具体的な指示がつかかるのは貴重だ。同時に、こうした指示を裏付ける「物証」もセットで発表されたのは意義深い。ただ残念なことに、金沢医療センターは昨年一月、「石井式濾水器」を、陸上自衛隊大宮駐屯地に寄付してしまったという。

今回の講演は新発見の発表にとどまらない意味があつたと思う。私自身、昨年夏に七三一部隊の取材を始めるまでは、金沢と七三一部隊との強いつながりはまったく知らなかつた。金沢市の文化担当の職員に取材した際も、「初めて聞いた」と話していた。講演

に参加した四〇代女性に感想を聞くと、「部隊が中国を引き揚げる際、捕虜だけでなく入院中の兵士も殺害していたのは驚いた」という感想を聞かせてくれた。

一九八〇年代、森村誠一氏の『悪魔の飽食』の発刊で七三一部隊は国内に知れ渡つたが、その後は勘氏ら「一五年戦争と日本の医学医療研究会」を始め、研究者が地道に資料の発掘を続けてきた。だが、ここに来て再び注目を集めているように感じている。今回の満員の会場は、それを裏付けているようを感じた。

昨年五月、『飽食した悪魔の戦後七三一部隊と二木秀雄「政界ジープ』を執筆した加藤哲郎・一橋大名誉教授は「昨年三月に日本学術会議が決議した軍事的研究の反対声明にみられる医学を含む科学の軍事化、急速な軍産学者を動かし、また科学史やインテリジェンス史の関心をよびおこしている」と指摘する。

加藤氏によると、戦後、こうした声明は三度目。一九五〇年に「戦争を目的とする科学研究には絶対に従わない決意の表明」、六七年に「軍事目的のための科学研究を行わない声明」が決議されていったという。半世紀後に再

び声明が決議された背景には、学術界と軍事の接近がある。

国立大学の学術研究に対する国から、交付金の削減が続く。一方で、防衛省は、安全保障分野への応用を見越した研究への助成金「安全保険技術研究推進制度」を二〇一七年度に、前年の一八倍となる一一〇億円に引き上げた。この制度に対するスタンスは各大学でまちまちだ。また、日本の大学などへの米軍からの研究助成が過去九年間で八億八千万円にのぼることも明らかになっている。

戦争に加担した日本の科学界。その

最たる例が、人類史に残る医療犯罪を犯した七三一部隊だ。昨夏、NHKが放映したドキュメンタリー「七三一部隊の真実 エリート医学者と人体実験」は大きな反響を呼んだ。学術界の軍事との接近、公文書管理の倫理感の崩壊、歴史修正主義的な政府。今、日本で研究に熱が入っているのは現代的で切実な問題がある。勘氏は「今まで再三、提案しても日本の医学界は七三一部隊について取り上げたことがない。反省しないと同じことの繰り返しになる可能性がある」と話す。

今後も、勘氏らの研究、そして発表に大いに期待したい。

3・1ビキニデー参加報告

原水爆禁止運動の原点 ビキニデーは

内藤晴一郎



久保山愛吉さんの墓参平和行進には海外代表、被爆者を先頭に1500人の参加がありました

核兵器禁止条約に参加する政府を作ろう」と主催者あいさつ。基調報告で日本原水協安井正和事務局長は「国際政治に新しい変化を作り出した私たち被爆国の運動をさらに大きく広げよう」と訴えました。

被災六四年の3・1ビキニデーは午前九時半より焼津市で久保山愛吉さん（第五福竜丸の無線長、当時四〇歳）

の墓参平和行進には一五〇〇人の参加がありました。

午後一時より焼津市民文化センター

で「被災六四年二〇一八年3・1ビキニデー集会」が開かれました。集会ではヒバクシャ、ビキニ事件被災者など

全国からの参加者が核兵器禁止条約を力に核兵器廃絶の実現を目指す決意と取り組みを交流しました。第五福竜丸元乗組員の大石又七さんも車イスから安倍政権がアメリカ言いなりの「戦争する国づくり」の危険な道を進んでいると厳しく批判しました。

今年のビキニデーは、核兵器禁止条約が成立して最初のビキニデーでした。

禁止条約の早期発効、日本政府の参加、北朝鮮問題の平和的打開、米国の「核態勢見直し（NPR）」の逆流阻止など核兵器廃絶運動の次のステップに向けて熱く討論・交流されました。

(河北原水協、新婦人内灘支部)

県内縦断上映会のご案内

映画「標的の島—風かたか」



「標的の村」「戦場ぬ止み」の三上智恵監督の最新作、「標的の島—風かたか」の県内縦断上映会が計画されています。

分会は「国民平和大行進の新たな発展を」を選びました。今年は原水爆禁止国民平和大行進が始まって六〇年という記念すべき年になります。

全国を歩く通し行進者からは「今年はこの地方を歩こう。来年はここ」という風に目標をもって楽しんで歩いている様子を語られました。皆さん定年退職をされた方ですが、お元気でした。誰にでもできる平和運動なので地域に帰つたら参加の呼びかけをしなくてはと思いました。

辺野古・高江・宮古・石垣—島々を「風よけ」にしようとするのは誰なのか？その叫びを黙殺したとき、次なる「標的」となるのは私たちの住む土地かもしれない。その恐るべき未来図と、それをくいとめようとする人々の闘いを描いたドキュメンタリーです。

島・ビキニ環礁での水爆実験から六四年。3・1ビキニデー集会は三月二七年。3・1ビキニデー集会を皮切りに三月一日日の国際交流会議を皮切りに三月一日のビキニデー集会まで三日間にわたつて静岡市、焼津市で開催されました。三月二八日の「3・1ビキニデー日本原水協全国集会」には全国から八五〇人の参加がありました。全労連小田川義和議長は「ヒバクシャ国際署名と安倍改憲阻止三〇〇〇万署名を広げ、

非核石川の会リレーエッセー

「学ぶことは生きる力」の言葉に励まされて

中杉治雄

昨年二月に後期高齢者医療保険適用地となり、親兄弟皆あの世に見送り、自分自身愕然たる思いです。

「人生七十、古来稀なり」「七十にして心の欲する所に従えども矩（のり）をこえず」の言もあるが、七六歳も「ざらなり」の状況となっており、「則天去私」の境地に達している人は、正に「稀なり」と思われます。

江戸時代の学者佐藤一斎は「学は一生の大業」とし「少にして学べば、則ち壯にして為すことあり」「壯にして学べば、則ち老いて衰えず。老いて学べば、則ち死して朽ちず」の言を残している。

これから的人生に何を加えていくのか・・・と考え、近年挑戦しているクロスワードパズルへの応募に加え、古文書講座の受講を決めた。県立歴史博物館の古文書講座とNHK学園の古文書講座（基礎コース）の受講である。

活字のなかつた昔は、当然のことながら文書は手で書かれ、なかなか読めません。しかし、他人に伝えるために書かれた文書なら、書き方のルールや

解説のきまりが必ずある筈で、歴史との関連を考えながらパズルに挑戦するように解いてゆく楽しみもある。との受講にあたつての言葉に期待しています。又、こうした文書のもつ意味を考えながら学習を進め、より深く歴史を見る力を養つていただきたいと

いう思いに応えていきたい。

歴博の二九年度後期の講座テーマは「旅人たちの旅と商い」で、NHK学園の今期年間テーマは①村の様子、②村の支配、③年貢と諸役、④家族と人口、⑤子どもと若者、⑥結婚と離婚、⑦老齢化、⑧一揆と騒動、⑨教育と習俗、⑩戦国期の領土と村で、取り上げられる古文書は①では村明細書上帳、⑧で信達一揆わらだ廻状等である。

テキストは、主として「村」「家」「人の一生」その他「一揆・教育・習俗・戦国期」の四大柱からなり、江戸社会を当時の文字・文書から理解が深まる

と大いに期待している。

詩人会議かなざわ「独標」より

安田桂子

腹が立つ

我が難は海の彼方
北の方角より來たる

福島の田んぼに向つて
拳を突き上げ
あの男は絶叫する
ああ のどが乾いた

なぜ起きぬ反乱
居座る 米軍

止らぬ 原発

広がり続ける 貧困と格差

食えぬ給料で 生めよ増せよ

少子化対策

昔にかえり

とんとんとんからりんと隣組

回して頂戴 回覧板

回り始めた 共謀罪

消費税アップで

青息吐息のアップアップ

一難去らずに

また一難

緊急事態発生

鳴り響くアラーム

防空頭巾を被り 頭を抱え

窓から離れろ 机の下に踞れ

モリ カケそばにオロシなし

忖度 損得 知らぬ存ぜぬ

まつ黒塗りで

益々突張る 欲と面の皮

ケンキョ ケンキョと

姦しく囁るウソツキ鳥は

もうケツコウ コケコツコ

騙したあちらがワルなのが

無縁な「動民」化を促すことです。（二）

《編集室より》

◎県知事選・県議補選では知事の判断が大きく問われる原発など、真に重要なことが争点になつたであろうか。耳障りのよい皮相な政策、見かけぬ選挙カー。私の周辺では選挙それ自体の土台が疑われる状況だった。有権者も候補者も今一度、戦後民主政治を土台から再構築することが求められよう。大事なことは、まつとうな民主主義は、主権者たる国民が自ら育てずして、育つことはない、ということだ。（な）

◎雑誌「経済」四月号の「A.I『合理化』と人口減少社会」（友寄英隆氏・著）で述べられた「資本と労働の代替性と補完性」について感ずること。「失業増大」と「人材不足」の双方が、例え、金沢という特定の地域に生起するのではなく、相互に異なる領域において――かつては都市と農村で、今では地方と大都市間で、「人口」と「居住」の移動を伴いながら進行する。そのことが、地域に根付くことのできな

い生活感を生み、定住・地方自治とは

騙されたこちらがアホなのか

踏んだり蹴つたりのこの仕打ち

ああ のどが乾いた

フォトグラファー 中西 優

東日本大震災から七年を迎えるました。
このほどJR小松駅前の三日市商店街で震災復興を願うキャンドルナイトが行われました。

「数年で震災の記憶は風化してしまったが、被災地にとってはずつと背負っていくのが震災」。ある被災者の方の言葉です。時代の動きや出来事を記録するカメラマンの役割を今後も果たし、震災の記憶を未来に伝えていきたいと思います。



絵手紙コーナー

金沢医療生協絵手紙班

中山清子

(写真説明) 東日本大震災からの復興
を願って開催されているキャンドルナ
イト=小松市・三日市商店街



非核平和の掲示板

月	日	曜	時	場所
3	21	休日	10:15	全国コッカイオンドク！コンテストin金沢
	23	金	18:00	映画「標的の島 風かたか」珠洲上映会
	24	土	14:00	映画「標的の島 風かたか」金沢上映会、三上智恵監督講演
	25	日	9:41	能登半島 M6・9地震 11周年(2007年)
	25	日	10:00	映画「標的の島 風かたか」内灘上映会、三上智恵監督挨拶
	25	日	10:00	映画「標的の島 風かたか」白山上映会
	25	日	14:00	映画「標的の島 風かたか」七尾上映会、三上智恵監督挨拶
	31	土	14:00	映画「標的の島 風かたか」加賀上映会
	31	土	19:00	映画「標的の島 風かたか」野々市上映会
	31	土	14:00	映画「憲法を武器として 恵庭事件」上映会（2回目：18:00～） 1回目上映後 内藤功担当弁護士が憲法と自衛隊について語ります
	31	土	14:00	柳田邦男講演会 「検証・福島で起きたこと・起きていること・そしてこれから」
4	1	日	14:00	映画「標的の島 風かたか」羽咋上映会
	3	火	18:00	映画「標的の島 風かたか」志賀上映会
	6	金	12:30	核兵器廃絶6・9署名行動
	17	火	18:30	憲法九条を広める会講演会 「安倍改憲と質問する力」東京新聞社会部記者・望月衣塑子さん
	30	月 休日	10:00	のじよネット 講演会 お医者さんが語る放射能に負けないための「日々の暮らしの処方箋」
5	3	木 休日	14:00	平和憲法施行71周年記念石川県民集会 記念講演「安倍改憲阻止のために」同志社大学教授・浜矩子さん
	9	水	12:50	核兵器廃絶6・9署名行動
	13	日	13:30	NPO法人「未来塾・大人の学び」市民講演会 「リベラル再稼働のために～アメリカの属国を越えよう」白井聰さん
6	9	土	14:00	戦争をさせない石川の会講演会 「なぜ、菅官房長官の会見に臨むのか」望月衣塑子さん
	16	土	13:00	映画「標的の島 風かたか」小松上映会

* 祝日は休日とします * 毎週金曜日18:30どいね原発アピール行動 金沢駅兼六園口 * 每月15日石川県沖縄連帯デー

◎月刊「非核・いしかわ」のサポート会員を募集中。年間購読料1,500円です。ご紹介をお願いします。